

2025
vol.64
no. 3

写真測量とリモートセンシング

小特集 「3D Gaussian Splatting の活用事例」

目 次

〈巻 頭 言〉 情報をつなげる力で、人・社会・地球の未来をデザインする	藤原 協	53
〈カメラアイ〉 TerraExplorer を用いた河川管理における 3D 空間情報の利用	間野耕司	54
〈小 特 集〉 「3D Gaussian Splatting の活用事例」		56
〈原 著 論 文〉 サッカー選手のアノテーションの品質向上を目指した深層学習のためのデータセットの構築およびパラメータの最適化に関する研究	松尾龍平, 田中成典, 姜 文淵	74
〈研 究 速 報〉 位相差方式レーザスキャナを搭載した MMS における道路標識の検出と距離測定誤差の評価	福士沙織, 高橋洋二, 近津博文	94
〈活 動 報 告〉 第64回定時総会 報告	布施孝志	100
〈活 動 報 告〉 令和7年度年次学術講演会 報告	中川雅史	105
〈活 動 報 告〉 令和7年度年次学術講演会 特別セッション報告	布施孝志, 織田和夫, 今井靖晃	121
〈活 動 報 告〉 International Symposium on Remote Sensing (ISRS) 2025 参加レポート	内藤千尋	140
〈文 献 抄 録〉 宇宙ビジネスのための宇宙法入門 第3版	大吉 慶	142
〈文 献 抄 録〉 PolyR-CNN: R-CNN for end-to-end polygonal building outline extraction	蘇 姝	144
〈会のうごき〉		146
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		147

表紙説明：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4: Advanced Land Observing Satellite-4) を、2024年7月1日12時6分42秒(日本時間)に種子島宇宙センターからH3ロケット3号機により打ち上げた。打ち上げ後、衛星の初期機能確認運用(衛星システム及びミッション機器が所定の機能・性能を有していることの確認)を行い、現在(2025年2月時点)は搭載するLバンド合成開口レーダ「PALSAR-3」の標準プロダクトの初期校正検証を実施している。本表紙は、能登半島全域を初期校正検証期間中の2024年10月14日に取得したデータである(観測モード：高分解能3mモード・観測幅200km・2偏波(HH, HV), R/G/BにHH偏波/HV偏波/HH偏波を割り当ててカラー合成)。ALOS-4はALOS-2搭載のPALSAR-2の高分解能(3m)を維持しつつ、観測幅を200kmへ向上させている。

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧下さい。

<https://www.jsprs.jp>

E-mail: office-jsprs@jsprs.jp

編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	木寺幸司	(南海測量設計(株))
	窪田 諭	(関西大学)
	堺 浩一	((株)パスコ)
	白井直樹	(日本測量協会)
	高橋元気	(国際航業(株))
	高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼尻治樹	(日本測量協会)
	野口真弓	(国土地理院)
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李 勇 鶴	(日本大学)
	力丸 厚	(長岡技術科学大学)